



人と人のふれあい

第20回 少年少女つどい大会

青少年相談員主催による少年少女つどい大会が各小学校6年生を対象に7月8・9日に町体育館で開催されました。当日はあいにくの雨となつてしまいテントでのキャンプは中止となり

▼みんなで作った味は最高



ましたが、各班に分かれて、それぞれのグループ活動をしました。町内4小学校から集まったため、不安な児童も多かったようですが、作業やゲームを通して親子となり団体生活の良い勉強となりました。

集団生活体験

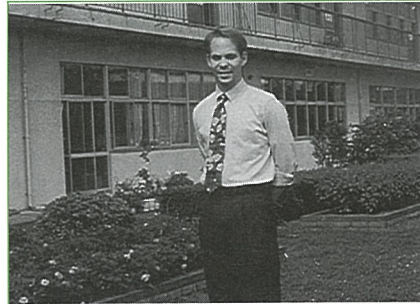
南条小 林 小百合

2日間いろいろな事が学べました。私達は明日の未来を受けつぐ者です。私達が学んだことを發揮できる日がくるかも知れません。集団生活をして、人と人とのふれあい、協力の大切さが分つたような気がします。あいにくの雨で

コミュニケーション

光中英語講師

ダニエル・ホーバス



日本人は、しばしば英語をコミュニケーションの障害にしてしまふと思う。

日本では英語があまりに大切にされすぎて、英語コンプレックスが生まれていく。日本の人々は数年間英語を勉強するが、それでもりゅうちような英語が話せないで、自分を悪くとりすぎるところがある。それ

が日本人に外国人とコミュニケーションさせることを憶病にさせていると思う。自分の考えを伝えたり、お互いに理解し合うための道具は言葉だけではない。例えば、ジェスチャーなどして相手に自分の意志を伝えることもできると思う。このことは、光中の生徒がアメリカメイビルを訪問した時に生徒達が学んだ最も重要なことのひとつであると思う。

外国人と話す時、彼の国の言葉をりゅうちように使えなくてもコミュニケーションできる。外国人とコミュニケーション

ユニケーションを図るには、まずコミュニケーションしたいという欲求、二番目にそれをするための創造的な努力(単に言葉だけでなく)が必要なのだ。ここで述べた例は、生徒達がアメリカにいる間に、誰かとコミュニケーションを図るために言葉の壁を破つたいくつかの、ほんの一例だと私は考えている。

ダニエル・ホーバス先生は、来年の7月まで、光中の英語講師を続けますので、よろしくお願いします。

したが、この体育館の中で集団生活の大切さが私達に伝わり、私達から次の代へと受けつがれていけば、いざというときに役立つと思います。自分達のためにもみんなのためにも、とても良いことでした。キャンドルサービスの時にちかかった協力・福祉・友情・平和をいつまでも忘れずに、火にちかかったことをいつまでも覚えていて、中学に行つても高校に行つても忘れないで生活していきたいと思えます。みんなでやったレクリエーションなどもつどい

大会の大切な思い出です。私達が大人になつたらみんなが平和で豊かな生活を送りたいです。それに、皆さんの友達を忘れずに大切にしていきたいし、友情をちかかったことを思いだし、ケンカした時もすなおにありたいし、自分でキャンプをする時も役立つからとってもいい体験となりました。

貴重な思い出

白浜小 大貫 照美

雨が降つていてスポーツ

公園でキャンプができなく残念と思つていたが、グループの人達や相談員の人と行動していると「あ、意外と楽しいなあ」と思った。特に、「はんごうでご飯を作っている時お米をこぼしたり、玉ネギで目がすごくいたくなつたりしたことなどです。あまり家でやらないことが多かったから、やってみておもしろかった。

2日目は、スポーツや読書をやつた。スポーツの方は、体育の授業をやつてみたいで、おもしろかった。読書は図書館へ行き本など

▼手と手をしっかりとつなぎ、ゲーム開始。「あったかい手だね」



せい てん へき れき
青天の霹靂

「へきれき」は雷がなること。よく晴れた日に突然雷がなる。このようにまったく考えていなかった事が急におきてびっくりすることのたとえ。【類句】寝耳に水